

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている  やや良く なっている	一般レストラン (店長)	お客様の様子	・支払時の客の様子が非常に明るくなっている。
		一般小売店〔菓子〕 (経営者)	販売量の動き	・個人向けの進物が少し上向いている。
		百貨店(営業担 当)	お客様の様子	・消耗品、高額品とも、客が価値を認めた品に対しては売行きが増加している。
		スーパー(店 長)	単価の動き	・客単価が3か月前の前年比96%から、5月は前年比98.5%となつて、2.5%回復してきている。 ・売上点数も前年比108%と回復の兆しにある。
		スーパー(店 長)	来客数の動き	・来客数が例年の102%と、徐々に増加している。 ・前年を上回る売上が出始めている。
		コンビニ(エリ ア担当)	販売量の動き	・主力製品の売上は厳しいものがあり、すごく良くなったとは言えないが、例年を割ることはなく若干良くなってきており、利益も少し上向いている。
		乗用車販売店 (所長)	販売量の動き	・5月に新型車が発売になり、例年と比べて120%の受注量がある。
		その他専門店 〔贈答品〕(店 員)	販売量の動き	・ブライダル関係の引き出物が順調で、1組当たりの単価は減っているが、組数は増えている。またその後のお返し物、結婚の内祝いについても、購入客数が順調に増加している。
		パチンコ店(企 画担当)	来客数の動き	・連休中に海外旅行より手近なレジャーとして選択されたことから、例年よりも売上が良くなっている。
		競艇場(職員)	来客数の動き	・新投票法の導入に伴い客の動きが良くなり、売上が少し上昇している。
	住宅販売会社 (経理担当)	来客数の動き	・モデルルームへの来客数が若干の上向き傾向にある。	
	変わらない	百貨店(売場担 当)	来客数の動き	・ヤングキャリアの客が減少している。特に平日のOLタイムの来客が、以前と比べてかなり減少してい
		スーパー(店 長)	販売量の動き	・以前は価格を下げれば売上もあつたが、今は単価を下げた割に販売量も増加せず売上もない。
		スーパー(店 員)	販売量の動き	・広告商品の目玉買い、もしくは低価格の物を選んで購入する客が目につく。
		コンビニ(エリ ア担当)	来客数の動き	・来客数、客単価ともに例年並みを回復している。ただ伸びている様子はなく、いまだに横ばいで数か月間推移しており先止まり感がある。
		衣料品専門店 (地域ブロック 長)	単価の動き	・夏物衣料の動きは良くなっているが、低価格を求めの傾向は相変わらずで、良い物が安くなれば購入している。
		衣料品専門店 (地域ブロック 長)	単価の動き	・相変わらず低価格商品の購入目的での来客が多く、客単価が低下している。
		家電量販店(店 長)	販売量の動き	・客が必要な物しか購入せず、販売量も減少し販売単価も低下傾向にある。
		家電量販店(副 店長)	販売量の動き	・単価は上昇しているが、販売台数が減少しているため、全体の売上額が上昇してこない。
		乗用車販売店 (総務担当)	単価の動き	・高額商品が出ず、単価の安い物しか動いてない。
乗用車販売店 (店長)		販売量の動き	・新型車の発売により新車効果は出ているが、他の商品、特に商用車の不振には目を覆いたくなる。 ・回復には程遠い会社関係とは逆に、個人は比較的資金に余裕がある。	
自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・タイヤ、エンジンオイル等の実需品の販売量はそこそこであるが、オートスポーツ用品、アルミホイール、カーオーディオ等、若年層がターゲットの商品が相変わらず低迷している。		
その他専門店 〔書籍〕(店 員)	販売量の動き	・書籍の売上が減少しているものの、講座等の受付が増加しており、売上自体は横ばいである。		
高級レストラン (スタッフ)	単価の動き	・昼間のOL、ビジネスマンの利用はあるが、低単価な商品に集中している。		
都市型ホテル (従業員)	来客数の動き	・レストランの客の利用が3か月前から低調になっている。		
都市型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・宴会場やレストランともに客単価が非常に低下している。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		タクシー運転手	お客様の様子	・閉館していた観光施設も今月全面再開したが、期待通りにはっていない。 ・連休は普通よりも多少車の動きがあったものの、下旬は昼夜とも動きは少なく、1時間に1回の割合での乗車しかなく、売上も伸びずほぼ横ばいである。
		タクシー運転手	お客様の様子	・最近の傾向として圧倒的に小型車の需要が多く、特に女性にその傾向が顕著である。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・3か月前と比べて、販売量、来客数ともほぼ変わらない。
		ゴルフ場（従業員）	お客様の様子	・単価の低いところに客が集中するという傾向が顕著に表われている。
		レジャー施設（営業企画担当）	来客数の動き	・周辺観光地のイベントが軒並み増加の様子にもかかわらず、日帰り温泉部門は営業推進の企画が終了すると同時に客の関心が離れ、リピートが落ちたため、客導引は例年を下回る傾向で推移している。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・来客数は回復の兆しもまだみえてこず、広告チラシ等の反応も薄い。
		住宅販売会社（営業担当）	競争相手の様子	・同じ業界の会社も受注が非常に減少し苦戦している。
	やや悪くなっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・紳士服の販売が極めて厳しく、また紳士関連のビジネスマンの商品購入の動きが非常に悪い。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・来客数は例年よりプラスで推移しているが、売上は減少し、客単価も低下傾向が続いている。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・3～5月と季節ものの動きが非常に悪くなっている。特にサンダルが非常に悪く、厳しい状態が続いている。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・メーカーは最近の500mlのペットボトル飲料水などに景品を付けており、客はそうした付加価値のある商品を購入する傾向が強い。逆に何も付いていなければ、客には魅力がない商品になっており、普段の購買に関して極めてシビアになっている。
		住関連専門店（広告企画担当）	単価の動き	・客1件当たりの単価が低下している。
住関連専門店（営業担当）		お客様の様子	・見て回る客の中で、高額商品に躊躇する客が増加しており、購入したい気持ちはあっても契約までにはなかなか至らない。	
その他専門店【時計】（経営者）		来客数の動き	・商店街の共通の駐車場の来場者数はやや増加しているが、各店舗の売上高は増加していない。	
一般レストラン（店長）		来客数の動き	・来客数が大きく減少しており、また客単価も低下している。	
旅行代理店（経営者）		販売量の動き	・受注状況の例年と比べて5月が91%となっている。	
旅行代理店（団体営業担当）		来客数の動き	・高額商品を購入する客が激減している。	
タクシー運転手		それ以外	・昼夜を問わず公共交通機関に乗り換える客の増加傾向に歯止めがかからず、1回当たりの単価も低下傾向 ・1回線当たりの月額使用料が低下しており、客の節約が定着している。 ・仕事量全体が減少している。	
悪くなっている	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・仕事量全体が減少している。	
	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・仕事量全体が減少している。	
企業動向関連	良くなっている やや良くなっている	百貨店（売場担当）	お客様の様子	・来客数が日に日に減少しており、得意客も平均客単価が例年4～5万円のところが、現在では2～3万円と、どの客も財布のひもが固くなっている。 ・セールで良い物が安くなっている、やはり低単価の物のみ売れるという傾向がある。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売台数が極端に落ち込んできている。
企業動向関連	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注が急速に回復している。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新製品の受注予定台数が3か月前に比べて年換算で15%以上増加している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
	変わらない	窯業・土石製品製造業（統括）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT関連業界は在庫調整が進み、生産が上向きつつあり、わずかであるが受注量の増加傾向がみられるものの、鉄鋼業界は依然として市況回復の兆しがみられず、受注量の大幅減少と販売価格の著しい低下が続いている。</li> <li>・この鉄鋼業界の市況低迷が会社全体としての販売高の大きな落ち込みを招いている。</li> </ul>	
		非鉄金属製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主力製品である電池材料について、受注量、販売量が期待していたほど回復していない。また価格の面でも非常に厳しく、販売量が回復してこない、この販売量、価格では完全に赤字である。</li> <li>・受注量、販売量が依然として低水準である。</li> </ul>	
		一般機械器具製造（企画経理担当）	受注量や販売量の動き		
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3か月前と比べて、受注量、受注価格に変化がない。</li> </ul>	
		通信業（社員）	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受注額が原価すれすれであり、まだまだ苦しい状態が続いている。</li> </ul>	
		金融業（業界情報担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先の受注量が下げ止まり、単価的にも経費削減効果から黒字確保できるようになりつつある。</li> </ul>	
	やや悪くなっている	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月の受注量が3か月前に比べると減少している。</li> </ul>	
		建設業（経営者）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力会社、取引先等で倒産、廃業等苦しい面が目立っており、まだまだ底を打った感はない。</li> </ul>	
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他企業のアウトソーシングを主に扱っているため、リストラに伴うアウトソーシングの仕事の引合いが増加している。</li> </ul>	
	悪くなっている	会計事務所（職員）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多少取引があった客で、急に取引が減少したり、急に価格の値引きを要求するところがある。</li> </ul>	
	雇用関連	良くなっている	-	-	-
		やや良くなっている			
変わらない		人材派遣会社（経営者）	雇用形態の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材派遣はオフィス業務の派遣需要が低迷しているが、製造業がやや上向いており、変わらない。</li> </ul>	
		求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人に対する企業の動きとしては、雇用形態は契約型、パート、アルバイトに変わってはいるが、全く求人を行わない状況から少し一転し、採用していく状況になってきている。</li> <li>・半導体関連は極端に良くなってきたとはいえないが、多少回復の兆しがある。</li> </ul>	
		新聞社 [ 求人広告 ] ( 担当者 )	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人広告は多少動きが出始めたようにもみられるが、やや良くなっているというレベルには達していない。</li> </ul>	
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠員補充の求人が多く、無資格、無技能の者が応募できる求人が減少している。</li> </ul>	
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規求人数、新規求職申込件数とも例年に比べて増加しているが、新規求人倍率、月間有効求人倍率が低下している状況にある。</li> </ul>	
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ1、2か月減少していた求人案件が、3か月ほど前と同じくらいまで増加している。</li> </ul>	
やや悪くなっている		人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度に変わって受注数が落ち込んでおり、まだあまり良好な変化がない。</li> </ul>	
		人材派遣会社（支店長）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急雇用対策や官公庁よりの外部人員の依頼が多くなっているものの、最低価格にて落札するため、高スキルを要する事務職でも実際の給与はパートやアルバイトと変わらず、正規職員の業務内容との賃金格差に対する論理的整合性が皆無である。</li> <li>・雇用される数は増加しているものの、賃金を含め待遇面での格差は広がる一方で、根治的解決は一向に進んでおらず、寧ろ悪化するとしか言いようがない。</li> </ul>	
		新聞社 [ 求人広告 ] ( 担当者 )	雇用形態の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業やサービス業でリストラが増加している。リストラだけでなく、配置替えが起きており、雇用形態が随分変わってきている。</li> </ul>	
		学校 [ 大学 ] ( 就職担当 )	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人数全体に減少傾向がみられる。</li> </ul>	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率が、過去最低水準を更新するなか、製造業と建設業での求人数の落ち込みが大きくなっており、停滞感が一層強まっている。